

新年のご挨拶

公益社団法人 福井県下水道管路維持協会

会長 酒井 典 康

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は一方ならぬご支援ご指導のお陰をもちまして、福井県内建設業関連では初めて公益社団法人の認可を戴くことができました。関係各位に対しまして心から厚くお礼申し上げる次第でございます。

さて、昨年の 3.11 東日本大震災が起きて早 9 ヶ月を迎えます。機しくも発生時に我々は坂井市様との災害支援協定の調印式を行っておりました。世の中では時間が経つにつれ、震災被害の大きさを忘れかけているように思われます。忘れることも必要な場合もありますが、忘れてはいけないことがあります。

それは、災害を検証し、最大限の防備をすることであります。今回のような大自然の脅威に打ち勝つことは困難かと思われそうですが、被害を最小限に食い止めるための手を打っておくべき役目は我々にあると思われれます。阪神淡路大震災からいくつもの災害を経験してきましたが、東日本大震災もそれに伴った津波も想定外であると目先だけで評論している方が見受けられます。しかし、遠い昔にこのような災害が起きていたとすれば歴史認識が弱く、最大限の防備を怠ったため甚大な被害が出てしまったのではないのでしょうか？

最近、福井県内でも小地震が起きていて注意喚起が求められています。発生直後にしか気にならない人間の感覚は、起きなければ気付かないことは下水管路に対する耐震予算配分にも通じているのではないのでしょうか？建物は耐震予算が大きく配分されていますが、下水管路は見えない施設のために管理者の気配りが少ないように思われます。少しずつでも修繕していったほうが良いのではないかと考えます。

さて、震災後に下水道管路の被害調査を進めていくと、比較的浅い管路は被害を受けやすく、そして管路更正した管路は非常に被害が少ないことがわかってきました。そのことから管路更正は耐震工事の一つと言えるのではないのでしょうか？長寿命化予算は耐震予算にも通じると思います。そして液状化現象被害がなければ管更正工事は完全な耐震工事と言えると思われれます。関係各位の皆様からご意見をお聞かせ頂きたいと思います。

現在、私たちは起きてはならない災害に対処するために災害支援組織体制の確立・災害支援担当者の育成・災害支援のための設備の充実を行っているところであります。また、災害の支援体制で欠かせないのが公益社団法人日本下水道管路管理業協会（中部支部）と福井県の支援協定が求められていると感じてなりません。



小浜市座談会

◆開催日：平成23年11月8日(火)

小浜市 産業部 上下水道課

課長 松田 克彦

本日は、公益法人 福井県下水道管路維持協会の自治体座談会の開催のため、ここ小浜市まで遠路お越しを頂きまして、誠にありがとうございます。

貴協会におかれましては、平成6年の発足以来、下水道管路の維持保全にまい進頂き、本年4月には公益社団法人に移行をされ、新たなスタートをきられたと伺っております。誠に喜ばしいこととお祝いを申し上げます。

さて、最近の下水道事業につきましては、何といたっても東北の大震災によりまして東北はもちろんのこと、関東一円におきましても多くの施設が被害を受け、未だに復旧もままならぬ施設もあると聞いております。

その被害の大きさから、市民生活の根幹を成します下水道施設の重要性を一段と明白にした出来事でもあったと考えております。現在も多くの関係者の努力によりまして復旧作業は続いていることと存じます。

また、県内の下水道は、ご存じのとおり、福井市をはじめ、代表的なインフラの一つとして今まで順調に整備をされてきたと認識しております。お陰さまをもちまして県内の下水道処理人口普及率は平成22年度末で72.1%まで上昇しておりますし、下水道を含めた汚水処理人口普及は、90.4%まで普及・上昇しております。従いまして、どちらかという現在では建設から維持管理へ中心が移行してきたといえるのではないのでしょうか。

本市でも昭和58年から開始を致しました下水道事業は、平成24年度をもちまして汚水管工事がほぼ終了する見込みとなっております。今後ますます管路を中心とした施設の維持管理が中心となる見込みでございます。本日はいろいろと協会の皆様の貴重な経験などを教えて頂き、今後の事業運営の参考とさせて頂けたらと考えております。

1. 小浜市下水道（管路）施設の現況と今後の取組みについて

小浜市は昭和58年より公共下水道の管渠整備を開始し、平成10年度までに市街地中心部228haを第1・2期区域とし整備完了しました。次に平成7年より14年度までに第3期区域として市街地北部224haを整備完了、そして現在整備中として第4期区域の市街地東部288haを整備しており、平成24年末で概ねの面事業完了を予定しています。

小浜市では平成3年3月に一部共用開始をして、管渠整備を開始して20年が経過した現段階で次の状況となっています。

	整備済面積	整備・普及率	水洗化率
公共下水道整備状況	約710ha	約96%	
使用開始状況	約679ha	約92%	約80%

※平成22年度末

また公共下水道管路延長は約166kmの施設状況となっています。

小浜市では公共下水道と平行して、集落単位で下水道整備事業を行い、農業用集落排水11地区・漁業集落排水8地区が整備率100%になっています。また公共下水道・農・漁業集落排水が整備しにくい地域においては合併浄化槽地区として約50%の整備率という現状です。

面事業においては平成24年度末で概ね完了予定ですので、今後は維持・修繕事業として取り組んでいきたいと考えています。

2. 適正な維持管理と管路延命の取り組みについて

小浜市は現在でも井戸水を使用している所が多く、下水使用の試算は、井戸水使用の所には市よりメーターを提供し、上水の場合は通常のメーターにて合算での使用量としています。

不明水の概念は、設計時で地下水流入を見込んでいますので、最終処理場での流入量と使用量との差を不明水とし、現在約25%であると思っています。

不明水対策としては、色々考えられるところではありますが、平成12年度より基本調査を開始し、ブロック割りをを行い人孔目視調査を管路維持資格者にて実施しており判明した場合には、コーキング等で処理している状況で23年度も約300箇所の人孔目視調査を実施しております。

管路延命としては、国土交通省の長寿命化支援制度の利用は必要と考えておりますが、供用開始より20年と言うこともあり、計画検討までいたっておりません。

今後は引き続き不明水調査、人孔調査、電子化した台帳の充実に予算計上し管路維持に取り組むこととしております。

3. 災害時における対応について

近年の雨水災害も大きく変わり、ゲリラ豪雨で今まで浸水しなかった地区が浸水する様になり課としては、現状雨水渠の監視に走る状況です。

防災計画での災害組織体制は整備されているが、下水道管路、浄化センターに関しては、上水道がメインとなり想定がなされていない状況です。その中で対策としては、通常民間業者にて維持管理をお願いしている関係で、災害時には民間関係者と連携しながらの対策になると思います。

3月の震災で防災計画も大きく見直しを行う必要性を感じており、その中で、職員をどういう配置にするかという所から見直しを始めたいと思います。



「下水道の日」普及啓発活動について

今年も9月9日(金)に住民の下水道に対する理解を深める街頭活動を各市町村担当課様と、下水道の役割パンフレットおよび、ティッシュを配布しPR活動を実施しました。また公益法人として福井駅前電子掲示板「すまいるボード」に9月1日～9月10日までの10日間「下水道の日」をPRしました。

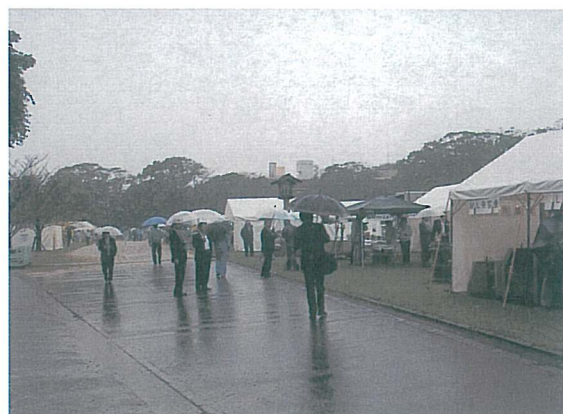


下水道管更生技術施工展 2011 九州

- 開催日 2011年10月5日(水) AM9:30(開会式)～PM4:30
- 会場 福岡県福岡市中央区城内(舞鶴公園西広場)
- 主催 公益社団法人日本下水道管路管理業協会(本部・九州支部)
事務協力：環境新聞社
- 後援 国土交通省九州地方整備局・福岡県・福岡市・北九州市
九州地方下水道協会・財団法人下水道新技術推進機構

開催規模 28社・団体

展示内容 管きょ更生・補修・改築の技術、設備
コンクリート防食・被覆の技術、設備
マンホール改築・補修の技術、設備
管内洗浄・清掃の技術、機器
調査・点検・診断・解析等の技術、機器
管路管理ソフト
安全衛星管理の技術、機器



提言『下水道管路管理技術資格について』

■国家資格(下水道管路主任技術者・専門技術者)

- ①『管路施設』 下水道事業団認定（国土交通省代行）資格
（下水道管路管理技術資格には管路施設しかない）
- ②『産業洗浄技能士』 厚生大臣認定資格
（管路清掃には欠かせない技術資格である）

※毎年試験が実施されています。

■公益社団法人日本下水道管路管理業協会資格

- ① 総合技士……一般土木で言えば技術士に値する資格
受験資格・管路施設の合格者で、かつ実務経験年数 7 年以上の者
下水道および下水道管路施設に関して高度な専門知識と見識を有し、業務に関して的確な判断ができ、安全衛生、教育等について指導監督ができるほか、維持管理計画等を立案し、必要な技術提案ができる水準。
- ② 主任技士……一般土木で言えば 1 級土木施工管理技士に値する資格
受験資格・管路施設の合格者で、かつ実務経験年数 5 年以上の者
下水道および下水道管路施設に関して基礎的な専門知識を有し、専門技師や作業員に適切な指示を与え、業務を適切に実行できるほか、施工（業務）計画書や成果報告書の作成ができる水準。
- ③ 専門技士……一般土木で言えば 2 級土木施工管理技士に値する資格
『清掃』『調査』『修繕・改築』の 3 部門に分かれている。

受験資格・実務経験年数 3 年以上の者

下水道および下水道管路施設に関して基礎的な専門知識および専門的技能を有し、指示された業務について状況に応じた適切な機械器具を使用し、上級者を補佐して作業員等に指示し的確に業務処理できるほか、成果内容を報告できる水準。

受験に関する詳細は

日本下水道事業団・日本洗浄技能開発協会・日本下水道管路管理業協会のホームページをご覧ください

東日本大震災視察手記（仙台市）

震災も年末で9ヶ月目に入る。原発地域を除き、現地は農地・山林を除いてがれきの片づけは一段落と見えた。下水管に至っては調査が年内に終了する程度で、現地は街づくりの方針が決まらない事や、当局と住民との意見が食い違う等、これからどうなるかと言うところである。

下水管路や処理施設は、津波にのまれたことも含め、地震による液状化とでダブルパンチである。処理場に至っては5年後にしか使用できないであろうと言われている。

又、公共事業の削減から、土木作業員の大幅減員を毎年行ってきた関係で、技能労働者が業界に少なく官庁の発注を受けきれないのが現状で、不調入れがかなり出ているようである。特に下水道管路の復旧に多いようである。

大手建設企業も労務主体の工事には手を出さず、機械的に出来るガレキ処理には熱心に対応しているようである。

下水管路の震災特需も2年以内に終わるとみて、建設業界も増員や設備の拡充体制は取らずに、外注に主力を置いているようであるが、下請が工事内容を選別するという状況である為復旧の遅れが気に成るものである。

いずれにしても降雪は少ない地域であるが寒い時季でもあり、健康に注意されて生活基盤を早くつくられることを祈るばかりである。

公益社団法人 福井県下水道管路維持協会正会員

株式会社キープクリーン

〒910-0006 福井市中央1丁目19-21
Tel:0776-27-0586 Fax:0776-22-0586

株式会社クォードコーポレーション

〒918-8151 福井市中荒井町第5号5番地
Tel:0776-38-3806 Fax:0776-38-6284

新保興業株式会社

〒914-0812 敦賀市昭和町1-18-26
Tel:0770-22-1243 Fax:0770-24-0102

株式会社成和建設

〒910-0855 福井市西方2丁目18-36
Tel:0776-23-8807 Fax:0776-23-6895

株式会社ダイエイ

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3
Tel:0778-24-4624 Fax:0778-24-4626

大北久保建設株式会社

〒911-0033 勝山市栄町2-7-6
Tel:0779-87-1580 Fax:0779-87-3148

丹南開発株式会社

〒916-0146 丹生郡越前町朝日5-17-1
Tel:0778-34-2334 Fax:0778-34-2674

テラオライトック株式会社

〒915-0806 越前市本保町第8号5番の1
Tel:0778-22-5215 Fax:0778-22-4100

東洋地工株式会社

〒910-0806 福井市高木町4-10-2
Tel:0776-53-5335 Fax:0776-53-5336

株式会社 トミックス

〒916-0005 鯖江市杉本町813番地
Tel:0778-51-1321 Fax:0778-52-2961

株式会社中村正建設

〒910-0833 福井市新保2丁目815番地
Tel:0776-54-2383 Fax:0776-54-2397

株式会社ニシデ・コンストラクション

〒918-8078 福井市更毛町11-22
Tel:0776-34-0474 Fax:0776-34-3092

西村建設株式会社

〒910-0122 福井市石盛町816番地
Tel:0776-56-2822 Fax:0776-56-2823

株式会社ミルタニ工業

〒910-0844 福井市長本町202番地
Tel:0776-53-5671 Fax:0776-53-5695

嶺南建設株式会社

〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12-24
Tel:0770-25-6333 Fax:0770-23-5580

鷺吉建設株式会社

〒910-0102 福井市川合鷺塚町38-8-4
Tel:0776-55-0463 Fax:0776-55-0669

賛助会員

エスジーシー下水道センター株式会社

〒160-0008 東京都新宿区三栄町19番地
(大久保ビル2F)
Tel:03-3355-3951 Fax:03-3355-3952

FRP内面補修工法協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3
Tel:03-3355-1525 Fax:03-3355-5786

クリスタルライニング工法協会

〒460-0013 愛知県名古屋市中区上り前津2丁目1番11号
(東洋化工機(株)内)
Tel:052-321-3875 Fax:052-321-0173

株式会社 水研

〒918-8116 福井県福井市大町1丁目711番地
Tel:0776-35-8811 Fax:0776-34-3664

日本スナップロック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3(TMSビル)
Tel:03-3355-3851 Fax:03-3355-3852

ペンタフ株式会社

〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1丁目7-10
Tel:06-6458-1231 Fax:06-6458-1221

丸一調査設計株式会社

〒910-0841 福井市開発町第20号6番地
Tel:0776-52-8400 Fax:0776-52-8401



公益社団法人福井県下水道管路維持協会

Fukui Sewer Collection System Maintenance Association

事務局／〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL. & FAX. 0778-52-2805